

平成25年度における研究成果

＜不死化巨核球細胞株の作製によるiPS細胞の選別＞

- 再現性よく不死化巨核球細胞株を樹立するための製造方法(右図)を決定した。

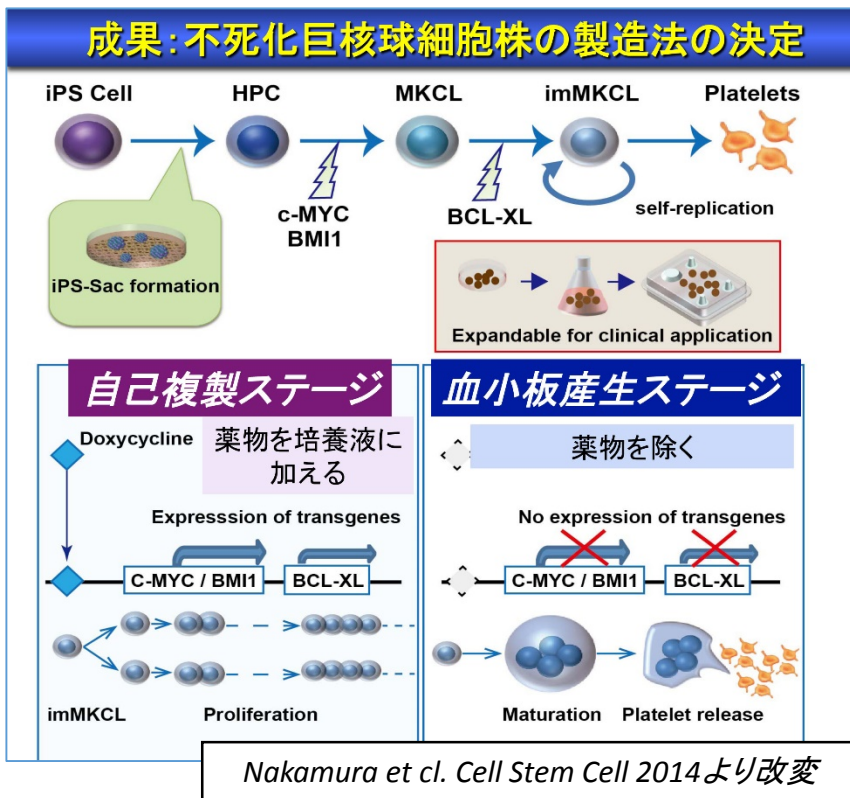
＜HLAホモ接合体ドナー由来臨床用iPS細胞ストックの製造＞

- 臨床用iPS細胞作製を開始した。
- 動物由来原料を用いない新たなフィーダーフリーiPS細胞の製造方法を確立した。
- 原料となるiPS細胞の品質評価方法の確立に向けた検討を進めた。

＜血小板誘導に適したiPS細胞の品質評価ガイドラインの策定＞

- 「血小板誘導に適したiPS細胞の品質に関する留意点と課題(中間とりまとめ)(案)」を所内にて作成した。

＜PMDAとの人材交流について＞



PMDAからCiRAへ

- PMDAからの人材の受け入れ 計24回、終日CiRAにて勤務
- 勤務内容
 - 各種ミーティング等への参加
 - 研究開発状況の把握
 - 規制の面からみた検討事項の整理、助言
 - その他個別の議論への対応

CiRAからPMDAへ

- PMDAにてセミナーを実施(計5回)
 - ①平成25年6月27日「臨床用iPS細胞等調製施設(FiT)の紹介 ～HLAホモストックプロジェクトを中心に～」
 - ②平成25年7月23日「フィーダー細胞を用いた臨床用iPS細胞作製法」
 - ③平成25年8月23日「フィーダーフリー条件によるヒトiPS細胞の培養方法の確立と臨床応用への展開」
 - ④平成25年11月13日「iPS細胞を用いたパーキンソン病の治療」
 - ⑤平成26年2月4日「iPS細胞事業に関連する特許」